

平成二十八年年度 選抜一期入学試験問題 「国

語」

岡山県作陽高等学校

注意 字数が指定されている設問については、「、」「や」「。」「も」一マス使いなさい。答えはすべて解答题紙に記入しなさい。

① 次のそれぞれの問いに答えなさい(同じ記号は二度使わない)。

- Ⅰ 次の四字熟語の空欄に入る漢数字をそれぞれ書きなさい。
  - ① 千載( ) 遇
  - ② ( ) 方美人
  - ③ 千差( ) 別
  - ④ ( ) 面楚歌
  - ⑤ ( ) 里霧中
  - ⑥ 朝( ) 暮四
- Ⅱ 次の文章の空欄に最も適する語を後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

今年の目標を聞かれてよく「がんばる」と答える人がいる。(①) 「がんばる」とは何をすることなのだろうか。逆に「がんばれ」と指示されてどのような行動を起こすだろうか。なにもできない。 (②) 「がんばる」という言葉は具体性に欠けるからだ。 (③) 「勉強を頑張ります」という人は具体的に何をやるのだろうか。「毎日復習します」というのならよくわかる。 目標は具体的な方が良い。(④) 目標を聞かれて「がんばる」と答えるときには「なにを」「どう」ががんばるかを明らかにしておく必要があるのだ。

選択肢	ア	しかし	イ	たとえば	ウ	それとも
	エ	なぜなら	オ	だから		

② 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

Ⅰ 阿蘇の水を作る話

水田は水を張ります。それゆえ私は棚田を見ると、まず尋ねます。「水はどこから来ているのですか」と。

ここは阿蘇山麓。熊本県と大分県の県境の標高八二〇メートルの高地です。ここに見事な棚田地帯を実現させるに至った背景にはわずか三〇〇ヘクタールの水田を開くのに一五〇キロもの水路を築き水を引いてきたという、⑦壮絶な歴史があったのでした。

阿蘇山は火山灰土で水がない、緑も土もない灰色が売り物のような山です。江戸時代、その山裾に入植したいが、水がない。そこで村中総出で半世紀にわたり木を植えます。苗木を背負い登山をし、そして穴ぐら住まいです。木のない裸山での植林ですから、小屋も造れません。

親子二代にわたりそのようにして植林を続けると、涸れ川にとうとうと水が出てくるようになります。そこで一の用水、二の用水と水を引き入植した、これが今の熊本県御船町の一角であり、その水の一級河川緑川の重要な水源の一つであり、その森林が今では国の学術参考林として特別に保護するほどの、立派な森林になっているのでした。

土のかけらもないところに、森林を作り水を作り、水田地帯を作ったのです。ここでもまた大岩を割り、岩石を削り水路を築き、トンネルをうがち、延々と水を引いての大事業の末でした。

Ⅱ 山と平野がつながってくる

「水はどこから」。そんな視点があれば、私たちの目はおのずから川をさかのぼり森林へと向かうはずです。水の原点は森林だからです。

と、こう、安心して書けるようになったのは最近のことで、三十年ものあいだあきもせず①同じことをくり返しいつたり書いてきた結果です。同じことをくり返しいつたり書いたりすることほど、ものを書く人間にとって苦痛なことはありません。それを、辛抱強くくり返しくり返し訴え続けたかいた頃が、今となつてはいささかの感慨があります。私がそよいい始めた頃はダムや⑦テイボウが専門の④高名な学者や行政関係者からの、たいへんな抵抗があったものでした。今ではそんな人た

ちが誰よりも率先して、森林森林といっているのが何とも不思議で、面白く思います。

ところで、④森林を見る、それはすなわち森林を育ててきた人間を見ること、つまりは山村という共同体を見ることです。「緑を守るとは、緑を守っている人間を守ること」という題名の文章が、私の作品を載せた国語教科書の教師用テキストに、もう十年以上載っています。森林を守ってきた人たちはすなわち山村の林業で生きる人たち。その林業とは、農業とセットにして初めて語れるものなのです。日本の山は米が作ったと、私は書いてきたのですが、そのことは先の「⑦阿蘇の水を作る話」の一事からおわかりと思います。

さて、そんな認識で風景を見ましょう。平野と山が、つながって見えてきます。農業と林業の関係もよく見えてきます。まず平野から見てみましょう。

Ⅲ まず水路を見る

④郊外の水田地帯を歩く場合、私は次のような見方をします。まず用水の施設を見ます。

かつて大地を②アミの目のように走っていたあの「ふるさとの小川」のどかな風景は、いまではなくなつてしまつたけれど、ともかくも用水の水路や\*堰など、水の施設を見ます。

水路が放置され、雑草が茂っていたり、ふちが欠けていたり、水面がゴミだらけだったりすると、「ああ、この人たちは、**X**が足りないのかなあ、やる気がないのかなあ」と心配になってきます。逆に水路の手入れが行き届いていれば、「この困難な時代に、頑張っているなあ」と、うれしくなります。日本の農業と水とは、まさに⑦そうした関係にあります。

同じようにして山を見るばあい、私は次のように見ます。秋、金色の稲穂波打つその水田風景が、平野から山裾へ、沢合いの段々畑へとはいあがつているようなばあいには、ひよいと上を見上げれば山もまた、まがりなりにも森林が守られています。その逆に、昔の\*谷地田が放置され、雑草におおわれているようなばあいには、ひよいと上を見上げれば山もまた放置され、荒れています。日本の山は米が作ってきたからです。その理由をもう少し書き加えましょう。日本列島の森林を支えている林業。その林業は独立しては成り立ちにくい産業です。自分の植えた木は自分の生きている間は切れず、孫子の代でなければ収入にならないからです。山村の人たちは山あいの段々畑の、庭先農業と呼ばれる③零細な農業の、その農作業の間間を見て、山に入つていったのです。炭焼きも、植林も農業と一体でした。江戸時代でさえそうでした。まして現代に、山村で農業がやっつけていけないようで、どうして林業だけでやっつけていけるでしょうか。それゆえ私は常にこういい続けてきたのでした。

「日本の森林は米のもと、水と土を作った。でも④その森林を作ったのは、米であった」

(富山和子『日本の風景を読む』)

\*堰 …… 河川での流量・水深調整や取水のため、川の途中や取水口で流れをせき止める構造物。

\*谷地田 …… 台地にはさまれ細長い谷や、山の斜面などの傾斜地にある田。「谷津田」ともいふ。

- ① ———の部分、⑦、⑧、⑨、⑩のカタカナは漢字に直し、漢字は読み方を答えなさい。
- ② 「①同じこと」の内容の説明として適当な箇所を、「」であるという「こと」に続くように本文中より七字で抜き出しなさい。
- ③ 「④高名」の類義語を漢字二字で、考えて答えなさい。

④ 「森林を見る」とは、どういうことだと筆者は考えているか。その内容を説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を、指定の字数で本文中よりそれぞれ抜き出しなさい。

「森林を見る」ためには(A 八字)を見るのが重要であり、なかでも、(B 二字)に関わる人々が、緑を守るという役割を果たしてきたことに目を向けること。

⑤ 「阿蘇の水を作る話」について、江戸時代の阿蘇の人々が行った事業の、どのような点を筆者は高く評価しているのか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1) 森林や用水をつくった人々の努力により、農業に適さない土地にも見事な水田地帯をつくることができた点。

(2) 幕府や藩が新たな農地の開発を推進した結果、農業に対して意欲的でなかった阿蘇の人々までが積極的に働くようになった点。

(3) 村中の人が総出で植林事業や用水をつくるための工事に取り組んだ結果、短期間で水田地帯をつくることができた点。

(4) 工用の機械もない時代に、大岩を割り、岩石を削つての難工事を行い、全長一五〇キロにも及ぶ水路を完成させた点。

⑥ 「Xが足りない」が「働く人の数が十分でない」という慣用語になるように、Xにあてはまる漢字一字を答えなさい。

⑦ 「㊦とした関係」とはどのような関係か。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1) 農家の人々の農業へのやる気は、水路の水の状態に影響しないという関係。

(2) 水路に浮かんでいるゴミを取り除くことが、水の流れをスムーズにするという関係。

(3) 「ふるさとの小川」を復活させたいという農村の人々の思いが、水路の手入れに反映されているという関係。

(4) その土地での農業の現状が、水路の管理状態に反映されているという関係。

⑧ 「㊧その森林を作ったのは、米であった」と筆者が考えるのはなぜか。四十字以内で答えなさい。

③ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

主人公の「サトル」は飼猫である「ナナ」(雄)をある事情で手放さなければならなかった。サトルはナナと共にナナの預け先を探す旅をしている。今日は北海道の親戚のところへ行くため、彼らはフェリー乗り場にいる。

港の岸壁にはまるで建物みたいのでっかい白い船が泊まっている。舳先に口をばかっと開いていて、あの口から車ごと乗りこむんだよとサトルが教えてくれた。㊨おなかの中に車を何台も飲み込んで沈まないなんて、人間はすごいものを作るねえ。

というか、こんな建物みたいな鉄の㊩塊を水の上に浮かべてみようなんて一体誰が思いついたんだろうね。ちよつと頭がどうかしていたと思われぬ。重いものは水に沈むというのが道理というものである。aあまねく人間以外の動物は世界のb摂理に逆らおうなんて思わないが、やつぱり人間は変わったイキモノだ。

㊦フェリーターミナルに乗船チケットを買に行ったサトルは、何で顔を赤くして戻ってきた。

「いやあ、まいったまいった。ナナは同乗者にならないんだってさ」チケットを買うときに書く乗船名簿に、サトルは僕の名前も書いたという。

ミヤワキナナ(六歳)が猫であることが受付で判明し、係の人の笑いを誘ったらしい。サトルはこういうところがたまに豪快に抜けている。「じゃあ乗ろうか」

ぱつぱつ開いた口からは、もう車が数珠のように連なって入っている。——ねえ、この船すでにけつこうな台数の車を飲み込んでるけど、本当に沈んだりしないよね？

「ナナ、何でしつぱちよつと太くしてるの」

いや、だつてさあ。もし、万が一この船が沈んだら、当然海に投げ出されるわけでしょう？それは——ねえ。

僕は\*ヨシミネのところに行つたときに見た海を思い出した。あんな重たい波音を立てる圧倒的な水の中に放り出されることを思うと、さしもの僕もぞつとしないよ。そもそも猫は泳ぎが得手ではないし、水が大嫌いだからね(たまにお風呂が好きという変わり種もいるが、そいつは猫として突然変異を㊪トげている)。

サトルだつて僕を頭に乗つけて岸に泳ぎ着くのは難儀だろうし。

僕の心配をよそに、銀色のワゴンは船のおなかに乗り込んだ。サトルは左の方に旅行カバンをかけ、右手に僕の入ったケージを持ち、歩くのがちよつと大儀そうだ。——少し前はこれくらい軽々と持ち運んでいたのに。

なあ、僕、自分で歩こうか？

僕がフタの鍵を内側からちよいちよいとやると、サトルが「だめだめ」と慌てたようにフタ側が上がるようにケージを斜めに傾けた。あらら、とケージの奥に僕のお尻がずり落ちる。

「フェリーの中、動物は歩き回っちゃいけないんだ。我慢して」

動物はつてことは犬もだね。それは平等でいいことだ。ペットOKのホテルとかでもよくあるんだけど、犬はOKなのに猫お断りという施設はけつこう多い。猫は爪を研ぐからダメだ、とかね。そんなもの、猫連れの客は修繕費用をちよつと上乘せした料金にしとけばいいじゃないか。それに猫が爪を研ぐのは安心できる環境だけで、行きずりの宿なんかで爪研ぎしたくなることはそんなないんだけどね。

それに、人間がよく気にする「動物のにおい」は犬より猫のほうが薄いんですけど？

ともあれ、犬OK・猫お断りというのは猫的にはけつこうカチンとくる差別なんだ。その点、犬も猫も両方ダメっていうのは納得しやすくていいよ。㊫このフェリーはいいフェリーだ。

サトルは僕を連れてペットルームに向かった。動物はみんなこの部屋に預けられるらしい。

無機質だけどこざつぱりとした部屋に、わりかし広いケージが天井まで隙間なく積んである。今日は動物連れの客が多いらしく、十個ほどあるケージのほとんどが埋まっていた。猫の先客は白い\*チンチラが一匹いるだけで、他は小型から大型まで取り混ぜて全部犬だ。

「ナナです、到着するまでよろしくね」

サトルはA先客に挨拶しつつ僕を部屋のケージに移した。

「大丈夫かい、ナナ。寂しくないかい？」

こんだけ他にも犬猫がいる状況で寂しいもへチマもあるもんか。むしろ、もつと静かな環境がいたただきたいくらいだね。今日の犬どもはおしやべりが多いらしく、数を頼んで雑談に夢中だ。また猫だ、今度は雑種だ、などとひそひそやかましいいたら。雑種で悪かったな。こちら。

「ホントは向こうまでずつと車で行けたらよかつたんだけどな。ごめんな」

そんなことに気するなつてば、B一日くらい我慢するよ。こう見えて猫は意外と㊬ンタイ強いんだぜ。

今度の旅はフェリーで着いた後が長いらしい。そしてサトルは最近めつきり疲れやすくなつていて、もう全部の道を車で走れるほどには元氣じゃない。

「できるだけ様子を見に来るから、寂しくても我慢してくれよ」

ひとまえであんまり過保護なこと言わないでくれる？決まりが悪いじゃないか。

(中略)

サトルは自分の荷物を抱えてペットルームを出ていった。

途端に犬どもがワーツと話しかけてきた。

「なーお前どつから来たの、どこ行くの、ご主人さまどんな人？——チンチラがケージの奥でイライラ丸まっている気持ちを一瞬で理解し、僕もチンチラの対処法にならつた。」

うるさいから寝たふりをして奥で丸まっているのだが、サトルはそう受け取らなかつたようだ。

「ごめん、やつぱり寂しいよな」

そして、㊭ちよつと来すぎだろつてくらい再々様子を見に来る。いいつて、そんなに来なくても。あんまりよその飼主に比べて㊮ヒンパンに来るので、そのうち犬どもにも過保護だからかわれるようになってし

まった。サトルが立ち去ると過保護過保護と大合唱だ。

うっせえ黙れ！ と唸り、またケージの奥で丸まろうとする——  
いちいちガキみたいに騒いでうっとうしいったらねえな、お前らは。  
聞こえよがしにそう言ったのは僕の真下のチンチラだ。

寂しいのはあの飼い主の方だって分かんねえのか。

高そうな長毛種のくせに存外口が悪い。犬たちも不満そうに言い返す。  
えー、だって、ねえ。ナナが寂しいよなって来てるじゃん、あの飼い主。

犬のくせに鼻が利かないうやつらばかりだな、あの飼い主からはもう  
長くないにおいがしてるじゃねえか。ちよつとでも長く大事な猫と一緒に  
にいたいんだろうよ。

犬たちは①に一緒にしゅんと押し黙ってしまった。そして今度はかわい  
そうかわいそうとひそひそおしゃべりだ。正直、全然こっそりできてな  
いけど、まあいいよ。若い犬ばかりだし、まだちよつと頭が悪いんだろ  
う。

なんか、ありがとね。

見えない真下のケージに向けて声をかけると、チンチラは不愛想な声  
で俺がうるさかっただけだと答えた。

ちなみに叱られた犬たちは次にサトルが来たときにみんなでしゅぽ  
を振ってくれたらしい。

(有川浩 『旅猫リポート』)

\*ヨシミネ・・・海沿いに住むサトルの友人。

\*チンチラ・・・猫の一品種。

① ———の部分、④、⑤、⑥、⑦、⑧のカタカナは漢字に直し、漢字  
は読み方を答えなさい。

② 「⑦おなかの中に車を何台も飲み込んで」で使われている表現技法  
を次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1)擬人法 (2)直喩 (3)隠喩 (4)倒置法

③ 「aあまねく」「b撰理」の意味として適当なものを次の中からそ  
れぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。

(1)あてはまるのはごくわずかである様子。

(2)おおかたほとんどがそうである様子。

(3)もれなくすべてにいきわたる様子。

a

b

(1)自然界を支配している法則。

(2)常識的なルールやマナー。

(3)人々が発見してきた真実。

④ 「⑦フェリーターミナルに乗船チケットを買いに行ったサトルは、  
何でか顔を赤くして戻ってきた」とあるが、その理由として最も適  
当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

(1)乗船名簿にナナの名前を書き、それを笑った係の人に對して怒り  
を覚えていたから。

(2)乗船名簿にナナの名前を書き、係の人に笑われたことに対して照  
れていたから。

(3)船のチケットを買い終え、ナナが寂しがっていると走り去って帰  
ってきたから。

(4)船のチケットを買い終え、車の運転から解放されお酒を飲んでい  
たから。

⑤ 「⑧このフェリーはいいフェリーだ」とあるが、誰にとって、どの  
ような点がいいのか、最も適当なものを次の中から一つ選び記号で  
答えなさい。

(1)猫を放し飼いにさせないので、船の管理者にとって船が傷まない  
ですむ点。

(2)猫と犬を差別しないので、ナナにとって気持ちを害されることが  
ない点。

(3)犬を放し飼いにさせないので、乗客にとって動物のいやなおい  
をかがなくてすむ点。

(4)動物も乗船できるので、ナナにとって他の動物と触れ合えて寂し  
い思いをしなくていい点。

⑥ A・Bにあてはまる語を、次の中からそれぞれ一つずつ選  
び記号で答えなさい。

(1)ときどき (2)わざわざ (3)たった (4)だいたい

⑦ 「⑨ちよつと来すぎだろつてくらい再々様子を見に来る」とある  
が、チンチラはなぜサトルがそうすると考えているか、四十字程度  
で答えなさい。

⑧ 本文の内容に合っているものを、次の中から一つ選び記号で答え  
なさい。

(1)サトルはもし船が沈没したらナナを命を懸けて守る決意を持つ  
ているが、ナナは船に乗ることに對して不安を抱いている。

(2)サトルはナナをとて大切にしているが、ナナは決まりが悪いの  
で小さく丸まり会いに来てほしくないという意志を示している。

(3)サトルはナナのために再々様子を見に行くが、ナナは他の動物が  
いるのでサトルがこの船を選択したことに感謝している。

(4)サトルはナナに對して何かを打ち明けたわけではないが、ナナは  
サトルの状況を理解しており心の中で気をつかっている。

④ 次の新聞記事を読み、後の問いに答えなさい。

全国の小中学校で、組み体操による児童生徒の都道府県別負傷率（1  
万人当たりのけが人）は、兵庫、福岡、大阪など西日本で高いことが27  
日までに、大阪経済大の④西山豊教授の調査で分かった。事故件数もこ  
れらの三府県が上位を占めており、西山教授は「都道府県は原因を解明  
し、抜本的な対策を講じる必要がある」と指摘している。

調査は、学校で児童生徒がけがをした場合に支払われる災害共済給付  
金の給付件数を日本スポーツ振興センターに照会。データがまとまって  
いる2012、13年度の組み体操による事故の給付件数を分析した。  
その結果、両年度で医療費の給付があった全国の事故件数は1万67  
11件（うち骨折は4334件）。都道府県では大阪が最も多く207  
4件（同531件）。次いで兵庫1890件（同548件）、東京147  
6件（同434件）、福岡1233件（同345件）、埼玉1133件（同  
248件）の順。

岡山は329件（同89件）、広島544件（同116件）、香川15  
4件（同36件）だった。これを児童生徒1万人当たりのけが人に換算  
すると、兵庫が19・9パーセントでトップ。福岡14・7人、大阪1  
4・2人、三重13・6人、鳥取13・2人と続いた。兵庫は全国平均  
8人の2・5倍近かった。岡山は10人、広島11・4人、香川9・1  
人だった。

西山教授は「兵庫県は組み体操が盛んで、特に中学校の負傷率が高い」と  
話す。事故件数が都市部で目立つ点も「大型ピラミッドなどに取り組  
むマンモス校が多いのではないかと分析する。

『山陽新聞』二〇一五年二月二八日

① 「⑦西山豊教授の調査」の結果の説明として正しいものを次の中か  
ら二つ選び、記号で答えなさい。

(1)都道府県別に見ると、組み体操による事故の件数・負傷率とも大  
阪府がトップであった。

(2)岡山県と広島県を比べると、組み体操による事故の件数・負傷率  
とも岡山県は広島県を下回っていた。

(3)中国地方五県のなかで、組み体操による事故の負傷率が最も高か  
ったのは鳥取県である。

(4)組み体操による事故のなかで、骨折事故の件数が全国で二番目に  
多かったのは兵庫県である。

(5)岡山・広島・香川の三県のなかで、組み体操による事故の負傷率  
が全国平均を下回ったのは、香川県だけだった。

② 組み体操を、今後も小学校・中学校での運動会・体育祭のなかで  
行うかどうかについて、あなたは次のA・Bどちらの意見を支持す  
るか。解答欄に記号を記し、そのように考える理由を二〇〇字以内  
で書きなさい。

A 運動会・体育祭の種目から、組み体操を無くした方が良い。

B 運動会・体育祭の種目として、組み体操を行う方が良い。

	受験番号
	氏名

1		I	
①		①	
②		②	
③		③	
④		④	
⑤		⑤	
⑥		⑥	

2		II	
⑦		⑦	
⑧		⑧	
⑨		⑨	
⑩		⑩	
⑪		⑪	

3		①	
②		②	
③		③	
④		④	
⑤		⑤	
⑥		⑥	
⑦		⑦	
⑧		⑧	

4		①	
②		②	
③		③	
④		④	
⑤		⑤	
⑥		⑥	
⑦		⑦	
⑧		⑧	

5		①	
②		②	
③		③	
④		④	
⑤		⑤	
⑥		⑥	
⑦		⑦	
⑧		⑧	

6		①	
②		②	
③		③	
④		④	
⑤		⑤	
⑥		⑥	
⑦		⑦	
⑧		⑧	

7		①	
②		②	
③		③	
④		④	
⑤		⑤	
⑥		⑥	
⑦		⑦	
⑧		⑧	

8		①	
②		②	
③		③	
④		④	
⑤		⑤	
⑥		⑥	
⑦		⑦	
⑧		⑧	

支持する  
意見

40

であるということ

げて

③ 2字

A 8字

B 2字

①

①

②

②

③

③

④

④

⑤

⑥

⑦

⑦

⑩

⑭

⑲

①

①

①

②

②

⑥

⑦

4

2

1

3

	受験番号
	氏 名

II	I
①	①
ア	一
②	②
エ	八
③	③
イ	万
④	④
オ	四
	⑤
	五
	⑥
	三

②	①
7字	⑦
水の原点は森林	そうぜつ
であるということ	⑧
③	堤防
2字	⑨
有名	こうがい
「著名」なども可	⑩
	網
	⑪
	れいさい

④	⑤
A	1
8字	⑥
山村という共同体	手
B	⑦
2字	4
林業	
⑧	
山村の人々が、長年に渡り林業と農業を両立させたこと	
で、森林は整備され、長年に渡り林業と農業を両立させたこと	

①	③
①	1
かたまり	④
②	2
⑤	2
⑥	2
⑦	3
a	b
3	1
⑧	1
②	1
①	①
かたまり	②
③	③
④	④
⑤	⑤
⑥	⑥
⑦	⑦
⑧	⑧
⑨	⑨
⑩	⑩
⑪	⑪
⑫	⑫
⑬	⑬
⑭	⑭
⑮	⑮
⑯	⑯
⑰	⑰
⑱	⑱
⑲	⑲
⑳	⑳
㉑	㉑
㉒	㉒
㉓	㉓
㉔	㉔
㉕	㉕
㉖	㉖
㉗	㉗
㉘	㉘
㉙	㉙
㉚	㉚
㉛	㉛
㉜	㉜
㉝	㉝
㉞	㉞
㉟	㉟
㊱	㊱
㊲	㊲
㊳	㊳
㊴	㊴
㊵	㊵
㊶	㊶
㊷	㊷
㊸	㊸
㊹	㊹
㊺	㊺
㊻	㊻
㊼	㊼
㊽	㊽
㊾	㊾
㊿	㊿

⑥	⑦
A	ナ
2	ナ
B	と
3	一
⑤	緒
2	に
④	過
2	ご
③	し
3	た
②	い
1	か
①	ら
かたまり	。 40
②	で
かたまり	、
③	少
かたまり	し
④	で
かたまり	も
⑤	長
かたまり	い
⑥	時
かたまり	間
⑦	を
かたまり	を

⑧ 4

④ ※②の解答は省略

①	②
2	3

②	支持する意見
2	3